

## 平成 28 年度 学校経営計画及び学校評価

## 1 めざす学校像

志の高いリーダーを育成する学校  
「世のため人のため、世界のため」という社会貢献意識を強くもち、気品に溢れる、情操豊かな生徒を育て、その進路実現を叶える学校  
めざす学校像を4つのキーワードで示す。  
「鍛える」…生徒が互いに励ましあい支えあいながら切磋琢磨し成長できる学校  
「極める」…グローバル社会で活躍できる高い学力をつける学校  
「繋がる」…互いの違いを認め合う豊かな人間性を醸成する学校  
「描く」…将来にわたる社会との繋がり方を描き、社会的貢献できる人材を育成する学校

## 2 中期的目標

## 1 グローバル社会を生き抜く高い学力を育成する

(1) 計画的に学力向上に取り組むスキームと、生徒自身が学力向上のプロセスと進捗を確認できるツールの確立。

**A** 「振り返りシート」を活用した PDCA サイクルによる学力の向上。

**B** 学力定着度を測るための指針としての全国模試の活用。

【目標】生徒向け学校教育自己診断における関連項目の肯定的回答率の向上。(H27: 66%→H30: 80%)

学力生活実態調査・全国模試等における学力レベルの維持。(各学年入学時のレベルを維持する)

(2) 授業改善

**C** アクティブラーニングの推進による読解力・思考力・表現力の育成。

**D** 生徒による授業評価の活用。教員の互見授業、研究授業を含めた教科内研修の推進。外部者への授業公開。

【目標】生徒向け学校教育自己診断における関連項目の肯定的回答率の向上。(すべての項目で各年度とも前年度より3%ずつ毎年向上)

(3) 組織的課外講習・補習の実施

**E** 各教科・進路指導部・教務部が連携した、課外講習・補習の学年ごとの講習年間計画の作成と実施。

【目標】生徒向け学校教育自己診断における関連項目の肯定的回答率の向上。(H27: 81%→80%超維持)

(4) 自学自習力の育成と自習環境整備

**F** 学習室の整備と生徒への自習室活用方法の周知徹底。

【目標】生徒向け学校教育自己診断における関連項目の肯定的回答率の向上。(H27: 75%→H30: 80%)

## 2 高い志をはぐくみ、すべての生徒の進路実現をめざす

(1) 生徒に自らの将来像を描く力を育成し、モチベーションの高揚を図るキャリア教育の充実。

**G** 社会で活躍している卒業生や第一線で活躍している人材による講話の拡大。

【目標】生徒向け学校教育自己診断における関連項目の肯定的回答率の向上。(H27: 59%→H30: 70%)

(2) チーム泉陽による生徒支援体制の確立。

**H** 入試問題・入試動向の研究と全国模試の分析。統合 ICT を活用した情報の共有化。

**I** 進学指導能力向上のため、教員による模試・学力生活実態調査の結果分析会の実施。

【目標】生徒・保護者向け学校教育自己診断における関連項目の肯定的回答率の向上。(H27: 生徒 81、保護者 77%→H30: 80%超)

現役で国公立大学に合格する生徒の在籍者数に対する割合 (H27: 36%→H30: 40%)

(3) 読書活動を推進し幅広い教養を育成する。

**J** 朝読や授業での、学校推薦図書「泉陽の 500 冊」の活用による読書習慣の確立。

【目標】生徒向け学校教育自己診断における関連項目の肯定的回答率の向上。(H27: 28%→H30: 50%)

## 3 人としての豊かな見識と情操を育てる

(1) リーダーシップ、パートナーシップ、協力協働の社会的精神の醸成。

**K** 充実した部活動の持続と学習時間の保障。

【目標】部活動参加率 90%超を維持しながら基礎学力の向上をめざす。(学力生活実態調査における学力・学習平均レベル A 3 に)

**L** 「自主的な学校行事」の促進。

【目標】生徒向け学校教育自己診断における関連項目の肯定的回答率の向上。(H27: 91%→90%超維持)

**M** 清掃活動等、ボランティア活動の推進。

【目標】「一部活動一社会奉仕運動」の実現。

(2) 生活指導や学校教育活動全般を通じた、豊かな人権感覚、望ましい生活態度、社会のリーダーにふさわしい感性と情操の育成。

**N** 教育活動全体を通じた人権感覚の醸成。

【目標】生徒向け学校教育自己診断における関連項目の肯定的回答率の向上。(H27: 62%→H30: 80%)

**O** 「遅刻ゼロ」運動、「自分からあいさつ」の推進。

【目標】遅刻総数の減少 (H27: 2181 回→H30: 1150 回)、生徒向け学校教育自己診断における関連項目の肯定的回答率の向上。(H27: 90%→90%超維持)

**P** 話をきちんと聞き、内容を理解した上で考えを的確に伝えることのできる力の育成。

【目標】生徒向け学校教育自己診断における関連項目の肯定的回答率の向上。(H27: 66%→H30: 80%)

## 4 チーム泉陽として課題解決にあたる教員集団の確立

(1) 学校の教育課題に対して全員で取り組む雰囲気醸成。

【目標】教職員向け学校教育自己診断における関連項目の肯定的回答率の向上。(H27: 60%→H30: 80%)

## 【学校教育自己診断の結果と分析・学校協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成 28 年 12 月実施分]	学校協議会からの意見
学校の教育活動に対する肯定率の変化 (H27→H28) <b>【保護者】</b> ①学校に対する意識 91%→92% ②学習指導 81%→82% ③生徒指導 90%→92% ④進路指導 82%→83% ⑤道徳人権 88%→87% ⑥情報提供 90%→81% ⑦学校教育への参画 88%→91% <b>【生徒】</b> ①学校に対する意識 89%→88% ②生徒指導 85%→84% ③進路指導 86%→82% ④教育相談 62%→61% ⑤道徳人権 62%→74% ⑥特活行事 91%→91% <b>【教職員】</b> ①学校組織 60%→59% ②教育活動の改善 69%→76% ③生徒指導 75%→76% ④進路指導 91%→94% ⑤教育相談 87%→87% ⑥特活行事 100%→95% ⑦情報提供 85%→84% ※保護者・生徒・教職員とも前年度に多くの項目で評価が向上したが今年度は横ばい。アクティブラーニング、清掃活動、読書習慣、あいさつなど、いくつかの評価が伸びていない項目の改善が課題。	第 1 回 平成 28 年 7 月 20 日 (火) ①H27・28 学校経営計画及び評価について ・「国際社会を生きる『英語力』の育成」の削除に関して、英語特化した学科でないので、すべての教科でアクティブラーニングと PDCA サイクルを活用した取組みを進められたい。 ②H27 進路実績について ・ここ数年多種様な大学に合格し、右肩上がになっていることを評価する。 第 2 回 平成 28 年 12 月 2 日 (金) ①学校経営計画の進捗状況 ・生徒の学習、クラブ活動、行事に臨む態度の向上が、ここ数年の進路決定状況の数値の伸びに結びついている。 ②授業アンケートの取組み ・教員が授業アンケート結果を振り返るしくみも整っており、授業アンケートを軸として授業力向上の PDCA サイクルがうまく機能している。先生の授業レベルを高くすることが生徒の学習レベルを上げることにつながる。 ・生徒が能動的に学習に取りくむ時間の総量が従前より確実に増加。量が質へと転化するという効果にもつながる。 第 3 回 平成 29 年 3 月 17 日 (金) ①学校教育自己診断の結果 ・心をどう持っていくのか。気づく力をどうつけるのか。一つの事を徹底してやると波及効果としてまわりが見えてくる。ただし、そうなるまで時間はかかるが言い続けることが必要。 ②平成 28 年度学校経営の評価 ・校長のめざす方向性は正しいのでその状態になるよう続けて下さい。

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 グローバル社会を生き抜く高い学力を育成する	(1) 学力向上のプロセスと進捗を確認できるツールの確立	(1) <b>A</b> 「振り返りシート」を活用したPDCAサイクルによる学力の向上。 <b>B</b> 学力定着度を測るための指針としての全国模試の活用。	<b>AB</b> 「振り返りシートを使い、学力の定着度の確認や向上に向けた改善に取り組んでいる」を70%以上に。(前年度66%)	<b>AB</b> 今年度から「振り返りシートをきちんと活用している」に修正し43%。まだまだ実施の意義が生徒に浸透しきっていない。(△)
	(2) 授業改善	(2) <b>C</b> 各教科における効果的なアクティブラーニング(AL)の在り方について研究し、授業で実践する。 <b>D</b> ・授業アンケートで高い評価を得ている教員による示範授業を実施する。 ・全教員が互見授業を年2回実施し、評価シートを活用した本人へのフィードバックを行う。 ・各教科での研究授業だけでなく、教科を超えたテーマ(ICT、AL、座学、実技)による研究授業を実施する。	<b>C</b> 「自分の考えをまとめたり発表する授業がよく行われている」70%以上に。(前年度58%) <b>D</b> 「社会に有為な人材を育成しようとしている」87%、「学力向上、自主活動の充実、気品ある生活態度の育成は実現されている」83%、「進捗や難易度が適切な授業が多い」84%、「教材や教え方に様々な工夫をしている先生が多い」78%をそれぞれ向上させる。	<b>C</b> 今年度「自分の考えをまとめたり発表する機会が多い」に修正し52%。さらなるアクティブラーニングの推進が課題。(△) <b>D</b> 「社会に有為な人材を育成しようとしている」89%(○)、「学力向上、自主活動の充実、気品ある生活態度の育成は実現されている」83%(○)、「進捗や難易度が適切な授業が多い」87%(○)、「教材や教え方に様々な工夫をしている先生が多い」80%(○)
	(3) 講習・補習の組織化	(3) <b>E</b> ・教科・学年・学校全体としての組織的課外講習を実施する。 ・各教科で最終目標を設定した上で、授業以外に必要な内容を講習として設定する。	<b>E</b> 「講習は役立っている」の80%超維持。(前年度81%)	<b>E</b> 「講習は役立っている」85%(◎)
	(4) 自習環境の整備	(4) <b>F</b> ・学習室(図書館を含めて)を整備し校内で自習可能な環境を保証するとともに、さらなる活用に向けた生徒への啓発を行う。	<b>F</b> ・「休日の学習室の開放は役立っている」を80%以上に。(前年度75%) ・授業、学習塾以外での学習時間の増加。(今年度より実施)	<b>F</b> ・「休日の学習室の開放は役立っている」77%(△) ・自宅学習時間の前年度上位学年比 1年生：平日-14分、休日-19分(△) 2年生：平日+13分、休日+15分(○) 3年生：平日+24分、休日+30分(◎)
2 高い志をばぐみ、すべての生徒の進路実現をめざす	(1) 将来像を描く力の育成	(1) <b>G</b> 生徒のロールモデルとなる卒業生や社会の第一線で活躍している人材による講話を拡大して実施する。	<b>G</b> 「将来の進路や生き方について考える機会がある」86%、「社会で活躍するリーダーから学ぶ機会が多い」59%をそれぞれ向上させる。	<b>G</b> 今年度から「進路指導は将来の進路や生き方について考える上で役に立つ」の修正し82%(◎)、「社会で活躍するリーダーの話聞くことは有意義である」に修正し86%(◎)
	(2) チーム泉陽による生徒支援体制の確立	(2) <b>H</b> ・入試問題研究・入試動向研究を継続する。 ・全国模試の分析を進路指導部で行い統合ICTを活用して情報を共有する。 <b>I</b> ・教科での分析と合わせて業者に頼らない教職員研修を実施して情報の共有化と教員の進学指導能力の向上を図る。	<b>HI</b> ・現役国公立大学合格者の在籍者に対する割合36%を維持(前年度36%) ・「各種説明会や大学の見学会など進路選択に関して学ぶ機会が多い」生徒、保護者とも80%以上に。	<b>HI</b> ・現役国公立大学合格者の在籍者に対する割合35%(○) ・今年度から「各種説明会や大学の見学会は進路を選択する上で役に立つ」に修正し生徒88%(◎)、保護者98%(◎)
	(3) 読書活動の推進	(3) <b>J</b> 教科の学習活動に学校推薦図書「泉陽の500冊」を活用するなど、アプローチの仕方を工夫して生徒の意欲の向上を図る。	<b>J</b> 「普段読書をしている」を80%に。(今年度より実施)	<b>J</b> 今年度から「読書する習慣がある」に修正し49%(△)。さらなる読書活動の推進が課題。
3 人としての豊かな見識と情操を育てる	(1) 協力協働の社会的精神の醸成	(1) <b>K</b> 進学校にふさわしい学力保障を前提に、部活動に打ち込める環境づくりに努める。 <b>L</b> 「自主的な学校行事」が行えるよう、学校行事に対する生徒の自主的関与をさらに深める工夫を行う。 <b>M</b> 実績のない部活動に参加を呼びかけるなど、部活動ごとのボランティア活動を推進する。	<b>K</b> 「学習・部活動の両立ができてい」を70%以上に。(前年度67%) <b>L</b> 「文化祭・体育祭は生徒の力で自主的に運営されている」の90%超維持。 <b>M</b> 部活動1部につき1つ以上のボランティア活動を実施。	<b>K</b> 「学習・部活動の両立ができてい」63%(△) <b>L</b> 「文化祭・体育祭は生徒の力で自主的に運営されている」95%(◎) <b>M</b> 部活動1部につき1つ以上のボランティア活動を実施(○)。
	(2) 社会のリーダーにふさわしい感性と情操の育成	(2) <b>N</b> ・各学年2回以上人権HRを実施する。 ・可能な教科・科目で、人権をテーマとした体験学習を実施する。 <b>O</b> ・「遅刻ゼロ」運動と全校統一の指導を行うことにより不必要な遅刻を限りなく減少させる。 ・「自分からあいさつ」を推奨するため、教職員が率先してあいさつを行う。 <b>P</b> ・授業でのALに限らず、行事等の自主運営などさまざまな機会を活用し、きちんと人の話を聞くことのできる力、自分の考えを適切に相手に伝えることのできる力の育成に努める。	<b>N</b> 「命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある」を80%に。(前年度62%) <b>O</b> ・遅刻総数を1500回に。(前年度2181回) ・「本校では、あいさつする人が多い」を80%超に。(今年度より実施) <b>P</b> 「論理的にものを考える力、自分の考えを的確に伝える力が身についた」を70%以上に。(前年度66%)	<b>N</b> 「命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある」74%(○) <b>O</b> ・遅刻総数1604回(○：前年度2181回) ・今年度から「あいさつやマナーを守る指導を行い、モラルを守る態度を育てようとしている」に修正し88%(◎) <b>P</b> 「論理的にものを考える力、自分の考えを的確に伝える力が身についた」65%(△)